

薬剤科

<p>スタッフ</p>	<p>常勤薬剤師：6名（科長含む）※うち1名は臨床研究部業務 （1名は産休・育休から6月より職場復帰） 非常勤薬剤師：1名（7月末で退職） 調剤事務 2名</p>
<p>概要</p>	<p>下記のことを基本理念に薬剤科業務を行っています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 専門性を活かしてチーム医療に貢献します。 2. 魅力ある職場づくりを行います。 3. 関係機関と協力して、精神科領域で活躍する薬剤師を育成します。 <p>【業務内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調剤業務、処方監査業務（内服、外用薬、注射薬など） ・抜薬、電子カルテの処方内容修正 ・薬剤管理指導業務、入院患者持参薬管理 ・各種心理教育（ステップ、オリーブ、ジブリ、話し合う会 等） ・医薬品情報管理業務、医薬品集、医薬品マスター管理業務 ・医薬品在庫管理業務、医療材料在庫管理業務、麻薬・向精神薬管理 ・治験薬管理業務 ・薬学部学生への教育 ・医療スタッフへの医薬品情報提供 ・ジェネリック医薬品推進 ・プロトコールに基づく処方、注射、検査オーダー ・各種医薬品の適正使用推進 ・臨床研究部連携（市販後調査・治験・臨床研究 等）
<p>活動</p>	<p>【1年間振り返って】</p> <p>平成27年度は、7月末で非常勤薬剤師1名が退職し、8月からは薬剤師5名、医療事務2名で行いました。また、昨年引き続き薬剤師1名臨床研究部に関する業務を行っています。</p> <p>会議や学生の受け入れなどをよりスムーズにするために、調剤室の机の入れ替えや配置の変更などを行い、調剤室レイアウトを大幅に変更しました。</p> <p>1) 調剤業務・処方監査・疑義照会 電子カルテによる処方チェックを薬の相互作用によるチェックに加えて、薬剤、病名間でチェックを行うように変更し、より安全安心な医療の提供に努めています。</p> <p>また、過去に薬剤などでアレルギーなどがあった患者について、薬剤科</p>

に情報を集約し、薬剤禁忌登録などを薬剤科で行うこととしました。
さらに患者さんの服薬管理の利便性を高めるために、アミティーザカプセル、インヴェガ錠について、ヒート調剤から他の薬剤とあわせて一包化調剤へと切り替え患者さんが服薬しやすいような調剤に努めています。

2) 薬剤管理指導、お薬教室（疾病教室）及びカンファレンス
家族会（F-SPEAK）が今年度から病院で開始されましたが、薬剤師はその運営などに初年度から関わりました。
また、薬剤師による在宅訪問業務を今年度初めて実施し、110件実施しました。

3) 病棟業務の拡大・アウトリーチ
今年度、簡易懸濁法を導入し、簡易懸濁の有無についてチェック表を作成するとともにマニュアルを作成し、病院全体で簡易懸濁法を導入しています。
また、薬剤師による常備薬のチェック・補充を全病棟で実施することとし、医師・看護師の負担軽減及び業務の効率化を行いました。

4) 医薬品・医療材料在庫管理・供給業務
持効性注射剤使用量が増加しているため、持効性注射剤の在庫数を増加させ、適切な在庫管理に努めています。

5) 早期体験学習・薬学生長期実務実習受け入れ・薬剤師研修施設
本年度は、薬学部長期実務実習を2期に1名、3期に3名受け入れました。また、他の実習グループ病院で受け入れている学生についても引き続き3日間実習を受け入れました。また、政策医療振興財団からの研究助成を受け、精神科単科病院のための精神科領域実習補助テキストを作成しました。

6) 電子カルテを利用したDI推進業務
問い合わせ事項について、薬剤科でエクセルを使ってファイル単位で保管していましたが、情報の管理の一括化を目的に、ファイルメーカーを利用したQ&Aシステムを構築し、問い合わせ内容のデータベース化を進めています。

7) その他
薬剤科のホームページを更新しました。
また、ウォールポケットなどの販売を薬剤科で行っていましたが、広く

その活用を周知するために、売店での販売へと切り替えています。
患者の自己負担の軽減や医療費の削減に向けて、ジェネリック医薬品を積極的に導入し、ジェネリック医薬品切り替え率は年度後半には 90% 以上に達しました。また、医療安全などを考慮して後発品から後発品への変更も併せて行っています。

【平成 27 年度に新たに行なったこと 一覧】

- ・電子カルテ上でのファイルメーカーを利用した
DI 情報システムの構築 (5 月)
- ・禁忌薬剤の登録を薬剤科で一括代行入力 (4 月)
- ・薬局事務所の机の入れ替え
- ・東古松サント診療所との合同在宅訪問業務 (4 月)
- ・薬剤師単独での在宅訪問業務 (5 月)
- ・病棟常備薬の種類・数変更 (4 月)
- ・全病棟常備薬の薬剤師による管理
- ・院外処方箋の一部、一般名処方開始 (5 月)
- ・精神科領域、薬学部実務実習テキストの作成
- ・インヴェガ錠、アミティーザカプセルの一包化開始
- ・家族会 (F・SPEAK) への運営・参加
- ・簡易懸濁法の導入・マニュアル作成 (9 月)
- ・病名禁忌の設定・運用開始 (12 月)
- ・薬剤科ホームページの更新 (H28. 1 月)
- ・ウォールポケットの売店での販売に切り替え (H28. 3 月)